

木田派の書下した 惨忍な芝居の一幕

比佐氏を排する暗中飛躍 太夫は舞臺裏に身仕度中

来るべき總選舉に際し石城の憲派からは縣議戰に敗戦を招いた木田織江氏が雪辱の意味で中原の鹿を追ふ事に狂奔するであらう事は想像に難くないのであるが、この問題には前回は無様に一敗地に塗れた比佐昌平氏との間に如何なる折合を見出すべきやである、即ち憲派内部には木田氏の財力に眩惑を感じて是れを擁立せんとする財閥組織

迷信が強く 保険は嫌い

漁夫の救済に 遺族扶養資金

石城、双葉、相馬三郡内の漁村に於て漁業中不慮の遭難で命を失ふものが年々數十

待遇を改善しろと 労働者が恐るる要求

早くも平署の眼が光る

石城郡内に於ける各炭礦は幾分好況に向つた爲め福引や賞品其他の奨励法に依つて出炭能率の増加に努むるの傾向あり現に入山採炭株式會社では一ヶ月間の皆勤者に は筥笥や長火鉢を贈與すると云ふので少しでもふところ工合の潤澤を望むは炭礦労働者として當然な要求である處から此事を聞き知つた他の炭礦に働いて居る労働者達は『是非俺達の山でもさう云ふ賞與法を設けて貰度い』と

田子 再任難

村長 永山氏當選か

石城城三坂村長田子英吉氏は來月十一日を以て任期満了すべく田子氏は再任の意志強固であるが村治に政黨を加味して常に紛糾せる問題を捲き起す爲め村民の輿望なく消防組頭永山久吉氏を押さんとするものが多い

水難漁夫慰安

石城郡青年團にては十九日午前九時から小學校内に總會を開き同時に水難救護會漁夫

郡電に 強硬な談判

郡山電氣平支店では營業區域内の電燈動力使用者に對し料金を昨年十一月改正した

支那政狀

平銀樓上にて 鈴木大尉講演

平町十三日會は十五日午後七時から平銀行樓上に於て臨時會を開き警中出身支那公使館付の陸軍工兵大尉鈴木兵一郎氏の最近の支那政狀に就いてと題する講演ある筈

突き飛ばさる 坑内にて轢死

石城郡内郷村高坂坑工夫白坂福松(三)は十五日午前六時半頃坑内にて上方より炭車三輛滑走し來り避くる暇なく突き飛ばされ轢死

眞面目な 問題

要するに妊娠の根本要素は卵子と精蟲である

胎せぬのであるから、適當な検査を施した上でなければ之を決定することは出来ぬ、男子に於ても精蟲を缺如するやうな場合は稀ではない、孕丸の發育が不十分で、精蟲が出来上らなければ、無論駄目である、又孕丸が病氣に犯されて、精蟲を作らなくなることもある孕丸の結核などでは精蟲が

轉覆炭車の 下敷き

胸を砕いて惨死

石城郡好間村古河炭礦堅坑後山婦秋田生れ佐々木スガ(四)は十四日午後二時頃坑内に於て炭積作業中脱線轉覆した炭車の下に押しつぶされ肋骨を挫折して惨死

馬君が喜ぶ

石城郡產馬組合にては廿三日午前十時から都會議事堂に總會を開き大正十二年度に於ける優良馬に賞品や賞

不平受付

投書募集 凍付く共用栓 私は六時に出勤せねばならぬもので

平町人事

出生 新川町 當時茨城縣多賀郡松原町 志賀廣吉氏六女トミ 死亡 南町 齋藤隆司(三)

不平受付

共用栓にてはあれ以上の保溫法がないのです、致し方ありませんから夜になつたら幾分水が流れ出す様に栓をゆるめて置いて載くより外ありません

平町人事

出生 新川町 當時茨城縣多賀郡松原町 志賀廣吉氏六女トミ 死亡 南町 齋藤隆司(三)

其筋書に依ると先づ

最初に財閥組は比佐氏を推薦し同氏が到底不可能なる軍資金調達に四苦八苦の斷末魔に陥入るべきを徐むるに待つて其時期到來と共に飛躍を試み一舉にして木田氏を公認候補たらしめんとする惨忍な敵本主義の芝居である、今や舞臺裏にて太夫身仕度中の由であるから

珍聞奇聞

婚禮宴の中毒 朝鮮平安北道李達成方の結婚披露宴で中毒の爲め廿五名が即死し百餘名は吐瀉して瀕死

子爵が逃出す 日本勸業社長子爵淺田春雄氏は藝妓三名を連れ『磨は箱根に行く』と稱して行方知れず

君主のミイラ、エジプト古代君主ツタンカーメン王のミイラが発見された

女教師が墮胎 仙臺市立小學校訓導藤あやめ(三)は情夫の種を宿し某醫師から薬を求めて墮胎し捕はる

俠骨車夫結束 水戸車

石城酒造税

百萬圓に近い

夫組合は貴族内閣と足輕黨の連中に絶對乗車を斷り民軍の黨士にのみ應援すると

轉覆炭車の 下敷き

胸を砕いて惨死

石城郡好間村古河炭礦堅坑後山婦秋田生れ佐々木スガ(四)は十四日午後二時頃坑内に於て炭積作業中脱線轉覆した炭車の下に押しつぶされ肋骨を挫折して惨死

馬君が喜ぶ

石城郡產馬組合にては廿三日午前十時から都會議事堂に總會を開き大正十二年度に於ける優良馬に賞品や賞

不平受付

投書募集 凍付く共用栓 私は六時に出勤せねばならぬもので

平町人事

出生 新川町 當時茨城縣多賀郡松原町 志賀廣吉氏六女トミ 死亡 南町 齋藤隆司(三)